

マシロギツネ



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

パークへご来園

ありがとうございます！



楽しんでますからね！



ここまでのあらすじ

ここはジャパリパーク。
君たちの中にも行ったひとがいるだろう？

そしてここは夜のジャパリ稲荷神社。

「あら、今夜も来たのですか？」

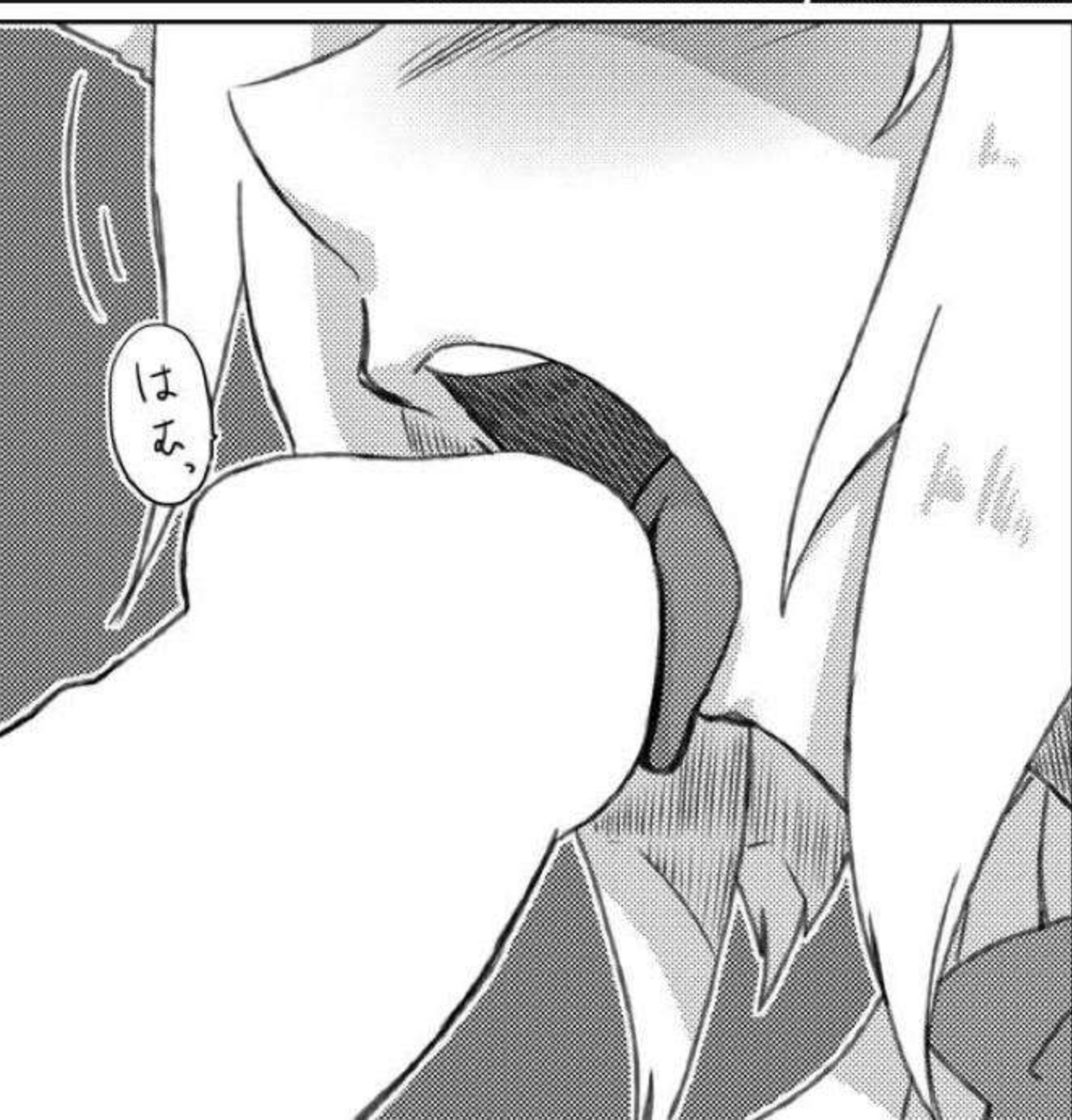
「……もう、仕方のないひとですね」

そう、今夜もオイナリサマに“お願い事”をしに来たのだ。



そんなに
楽しみだったんですか？

あらあら、
もうこんなに
大きくして





どうも
慣れないですね

この味は

まったく

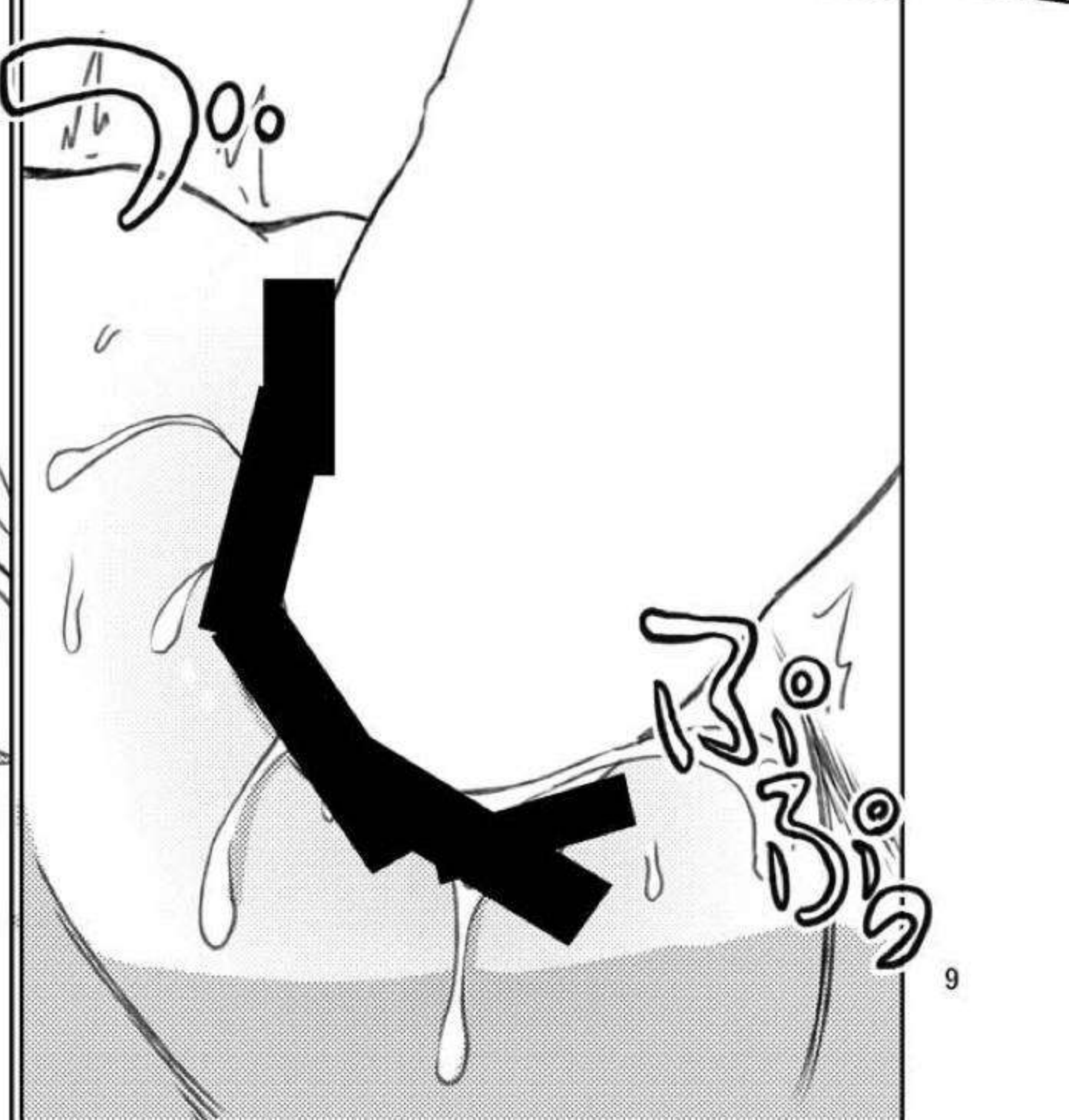
食べものの神様に
こんなものを飲ませるなんて、
罰当たりなひとです

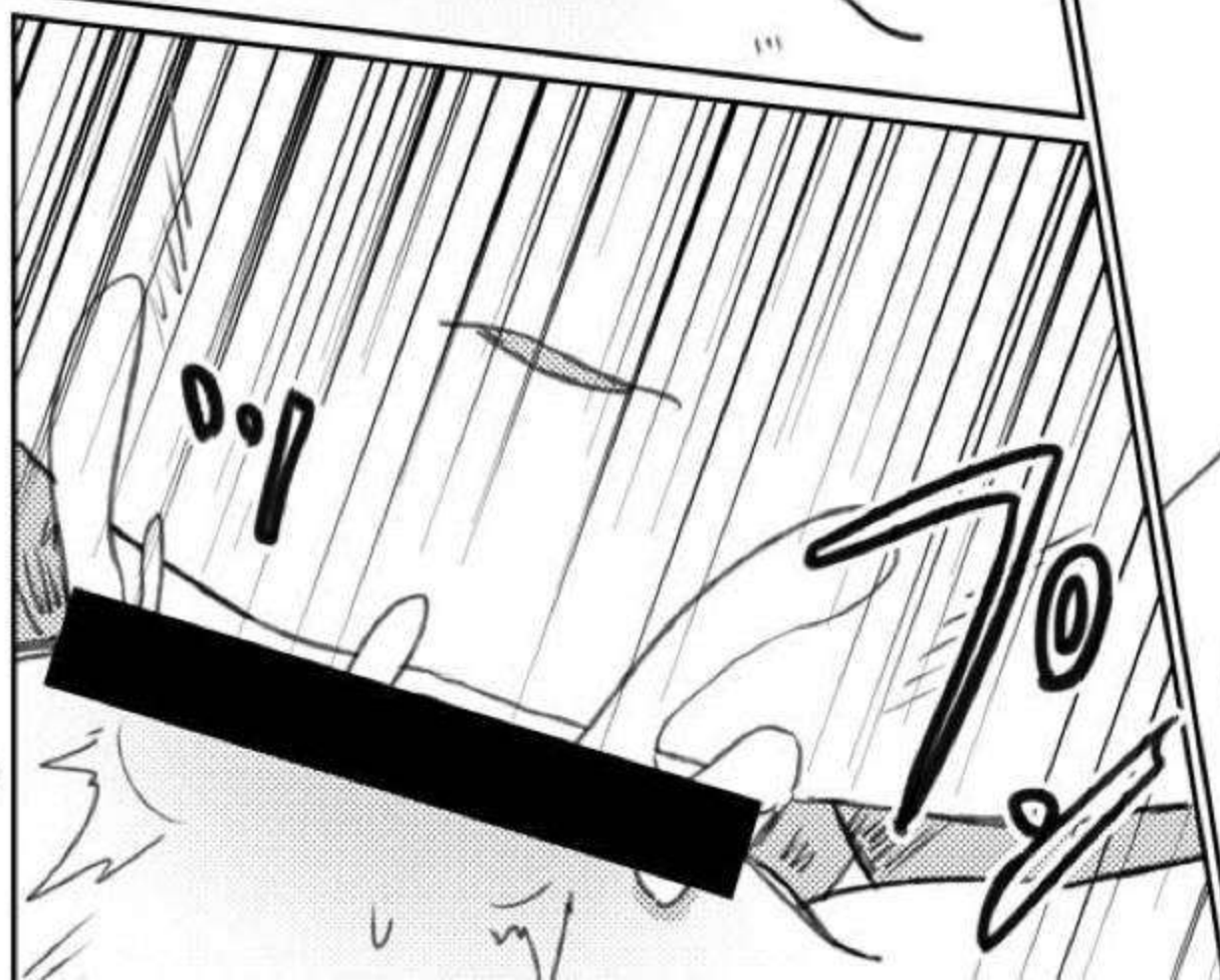
は。
さっ

今度はちゃんと

こつちへ出して
くださいね？











トキ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

ふふ……

たくさん
出しましたね

はま
はま

えっ、明日もですか？

……もうっ。
次こそは私がしますからね？

どろお…

「マシロギツネ」

原作 : けものフレンズプロジェクト
発行 : Cynthia / 朝倉銀・桜木李杏
http://cynthia.cc/
sakuragi@cynthia.cc
発行日: 2017/12/31 コミックマーケット93
2017/12 DL版

■許可の無い複製・転載を禁じます■

何故エロ同人でやる！？オイナリサマ&キュウビキツネのデザイン考察コーナー！！
(漫画と全く関係ないので読まなくても大丈夫だよ！)

オイナリサマとキュウビキツネ。このふたりはネクソン版アプリのリリース当初から実装されていた“☆5フレンズ”で、一番最初にしていた「☆5出現率2倍キャンペーン」のバナー広告でも一緒に登場し、デザインも共通点の多いキャラクターです。

アプリの内部ファイル番号もオイナリサマが「65」、キュウビキツネが「66」となっており、コンセプトデザイン展にて公開されたイラスト原画でもふたりは同じ紙に並べて描かれていたことから、同時期にセットでデザインされたキャラクターであると思われます。

デザインも、「白い髪・白いブレザー・赤い耳・金色の、光輪のある瞳」と共通点が多いものとなっています。

ではこのふたりは「ギンギツネ・キタキツネ」のような、キャラクターデザインとして「姉妹」のような関係なのでしょうか。

オイナリサマのアニマルガールとしての「元動物」とは何なのか。通常、けものフレンズのアニマルガールはその元となった動物がいますが、オイナリサマは「稲荷神」であり、本来「神様」には決まった姿はありません。

オイナリサマは、「稲荷神社の狐像（いわゆる“狛狐”）を依り代に顕現した稲荷神」なのではないだろうか。

「狛狐」は一般的に白い狐の姿をしており、「赤い耳・赤い前掛け・尻尾に金色の輪」という特徴があります。これらはオイナリサマの「赤い耳・赤い蝶ネクタイ・尻尾の金色の輪」と対応しています。

「オイナリサマの姿=狛狐」を裏付ける根拠として、吉崎観音氏のWeb公開イラストに「狛狐の台座に座るオイナリサマ」の絵が存在しているというのがあります。

「けものフレンズのアニマルガール」は“動物の擬人化”とされていますが、その姿・キャラクターは「人間の主観的なイメージ」が色濃く反映されています。オイナリサマに関して、「お稲荷さん=狐」といった、一般的なイメージを反映したものではないかと思えます。

ではキュウビキツネも同じなのかというと、キュウビキツネには別のデザインモチーフが存在しています。そもそも、「九尾の狐」は「お稲荷さん」とは違います。

キュウビキツネの白い姿や赤い耳、脚や顔、頭にある模様は「狐のお面」がモチーフだと思われる。このお面には、目の周りに赤い線が入ったものも存在するのですが、キュウビキツネの「眼鏡」はこれが元だと思えます。

「九尾の狐」は日本だけでなく朝鮮や中国にも伝説があるのですが、キュウビキツネの場合は主に日本の「玉藻前」が元となっているようです。

平安時代の女性の衣装、「赤い袴」が赤いスカートの元となっているのでしょうか。そして「殺生石」に巻かれている「注連縄」が、首元のそれと対応しています。

しかしここで大きな謎がありました。「注連縄に付いている鈴」のモチーフが何なのか不明なのです。

殺生石の注連縄には鈴は付いていませんし、九尾の狐を祀る神社やお寺にも、わざわざこれほど目立つ飾りに取り入れるほど目立つ鈴が見あたりませんでした。前述の「狐のお面」には鈴が付いていることもありますが、やはりこの位置に付けるものとは思えません。

これは私の仮説なのですが、「この鈴は、“九尾の狐”と“お稲荷さん”の混同・同一視」を表しているのではないかと考えています。アニマルガールは「一般人の持つイメージ」が色濃く反映されたデザインになっている、のならば、キュウビキツネも「お稲荷さんとの混同」がデザインに盛り込まれていても不思議でないのではないのでしょうか。

実際には九尾の狐を祀った稲荷神社はそれはそれで実在するのですが、もしキュウビキツネが「稲荷神社の九尾狐」を元にしてしまうと、オイナリサマと重複してしまうことになるため、これは少し考えにくいのではないかと。ゲームの作中でも特にオイナリサマとの関係は語られていませんしね。

この点に関しては更に調査をしていきたいと思っているので、何か知っている方がいたら情報提供をしていただくと助かります。

そして最後に、「9色の尻尾」です。

九尾の狐の昔の絵や近年のゲームキャラクターデザインなどあらゆるイラストを調べてみたのですが、このようなカラフルな尻尾は一般的でないどころか、全く見かけないのです。

が、ひとつだけ発見しました。広島にある「中の棚稲荷神社」のマスコットキャラクター、「九美の狐」です。9本の尻尾の先がカラフルに色分けされています。

このマスコットキャラクターがキュウビキツネの元となっているのか、このキャラクターにも元となったモチーフが存在するのかは今のところ不明ですが、他にそれらしいものも出てこないため有力候補と考えています。

以上、あんまりためにならない謎テキストでした！



☆キュウビキツネに攻められてえなあ～

オйнаリサマのエロ同人 鉄しい!

というわけで作ってみました。どうも、お久しぶりです朝倉銀です。

いや桜木李杏でもいいんですけどね。どうも初めましてだったりそうでもなかったり。

「朝倉銀」は昔のPNで、エロ用の別名義として使おうかなって思っていたのですが、最近お仕事系で普通に「桜木李杏」で描くことが多いしSNSも区別していないのであんまり意味がなくなっていますね。どうしたもんか（お仕事だと普通に桜木として請けちゃうのでそうなる）。

成人向けの同人誌って、イラストの合同誌を除くと前回に出したのって2011年なんですよ。

あれが初めて描いた成人向け漫画だったので、えらい久々かつ2作目です、と思いきや実は最近、少し前にとある企業さんの企画で狐巫女のエロ漫画描いたんですよ。

私、前述の通りエロ漫画って6年も前に描いたっきりだったのに、

何故に自分に声がかかった！？とだいぶ困惑したんですけど、なんか面白そうだったのでホイホイと受けてしまったわけで（おい）。

実際描いてみたらやっぱり色々勝手が分からなくて苦労したのですが、一度ノってきたら意外と描けるようになってきました。なんかのスイッチが入ったんですかね。スイッチと言え最近Switch買いました。ポッ拳たのしい（日記要素）。

で、今回は「けものフレンズ」からオйнаリサマ本なわけですけど、私の好きなエロ漫画と違ってわりと陵辱モノとかそっち系が多かったのが最初そういうのとか、なんか暗い系の話も考えてたんですけど、ちょっといきなり重たすぎるなって思ったので、明るい感じにしてみました。

案外描けるものですね。びっくり。

でもそういう系も描きたいなーって思っていたりはするので、そのうちやるかもしれない。

オйнаリサマはアプリで「どんなことだって…」と言っている台詞があるのですが、「どんなことだってするって言ったよね？」と言いながらエロ展開へ持っていこうとするとどうしてもギャグになってしまう（色々な理由で）のでなかなか難しいところ。

「おいなりさん（キ〇タマ）」とかは最初から完全にギャグなのでさすがに無理かなって気はしますが。

あと「白狐」を「白濁狐」って感じでなんか描けるかなって思っているんですけどまあこれもどっちかっていうと陵辱モノっぽい気がするので別の機会につて感じで。ギンギツネでちょっとやっていますけどね。

それはともかく、オйнаリサマは高感度上げれば頼んだらやらせてくれそうですよね。

「マシロギツネ」っていうのは「白い狐」って意味ですが、オйнаリサマの他に「ギンギツネを白くする」とか「キュウビギツネ（こっちも白い狐）」とか描きたいなって思ってそういうタイトルにしました。結局今回の本にはあんまり入らなかったんで、次はキュウビギツネも描きたいですね。作画大変そうだけど。

そんな感じで、また次の本などで。

キュウビギツネのエロ同人も
鉄しい!